

BIWAKOビエンナーレ2010 展示作品継続公開
青木美歌作品 “未生命の遊槽”

NPO法人エナジーフィールド(滋賀県近江八幡市)は、昨年9月18日～11月7日に開催いたしましたBIWAKOビエンナーレ展示作品、青木美歌 作 “未生命の遊槽” を継続公開します。

BIWAKOビエンナーレ2010では、滋賀県近江八幡市の旧市街に残る空き町屋や元工場など約10軒を会場に、国内外63組の作家が制作展示を行いました。

“未生命の遊槽”は、青木美歌がBIWAKOビエンナーレ2010のために制作したインスタレーションです。ガラスを用いて原始生命体の形態をモチーフとした作品を制作している青木美歌は、今回会場となった18世紀に築造された町家を生命が受け継がれていく場として捉え、生命のサイクルを表現したサイトスペシフィックな作品を制作しました。本作品はご来場頂きました皆様からの評価が非常に高く、鑑賞できなくなることを惜しむ多数の声に応え、継続公開することと致しました。

当面2011年末までの延長ですが、エナジーフィールドでは2012年以降も継続公開できるよう検討してまいります。

【公開曜日・時間】

～2011年3月末：

公開時間 13：00～17：00（予約制）

鑑賞料金 ¥500／人（小学生以下無料）

予約先：yoko@energyfield.org

2011年4月～：

公開時間 土日祝日 13：00～17：00

鑑賞料金 ¥500／人（小学生以下無料）

他曜日・時間の鑑賞ご予約は yoko@energyfield.org までお願い致します。

【アクセス】

鑑賞当日はBIWAKOビエンナーレ事務局“天籟宮”へお越しください。

〒523-0831 滋賀県近江八幡市玉屋町6番地 <http://energyfield.org/access/>

電車・バス

JR 東海道本線・琵琶湖線「近江八幡」駅北口から

近江鉄道バス6番乗り場「長命寺・国民休暇村」行きで「大杉町」下車

車の場合

名神高速道路「竜王IC.」より約30分（周辺有料駐車場をご利用ください）

【BIWAKOビエンナーレ2010 総合ディレクター 中田洋子】

この度展示延長が決まりました青木美歌さんの作品“未生命の遊槽”は、“BIWAKOビエンナーレ2010”の中でも、ひとときを精彩を放ち、人々の心に生涯残るであろう名作となりました。50日間の会期中、ひっそりとした会場（幸村邸）からはその神秘的な美しさに打たれた人々のため息が漏れました。開けた玉手箱さながらに幻想的なその作品たちは、あたかも幸村邸に潜む遠い記憶が健在化したかのごとく、振り返ったその瞬間にはもう姿を消してしまっているのでは？というはかなさを漂わせ、見る者にさまざまな思いを想起させます。

多くの方々のご尽力で、展示が延長できますこと心より感謝いたします。この機会にぜひご鑑賞賜りますよう皆様のお越しをお待ち申し上げます。

【作家 青木美歌】

色々な季節や時間を通してまたあの空間を体感して頂ける事になり、大変嬉しく思っています。外から漏れてくる光の移り変わり、作品の表情の変化を、畳の上で座ったり寝ころんだりしながら、ゆっくりと感じていただけたらと思います。

NPO法人エナジーフィールド

理事長：西川嘉廣 常務理事：中田洋子

〒523-0831 滋賀県近江八幡市玉屋町6番地

TEL・FAX：0748-26-4398 <http://www.energyfield.org/>

【作家略歴】

青木 美歌 (あおき みか)

1981年 北海道出身
武蔵野美術大学工芸工業デザイン科ガラス専攻卒業
現在 埼玉県 丸沼芸術の森にて制作
Website <http://www.sing-g.net/>

賞歴

2010年 SICF11 グランプリ
2008年 第11回岡本太郎現代美術展入選
2006年 武蔵野美術大学 卒業制作 優秀賞
Jeans Factory Art Award 準グランプリ

主な個展

2010年 SICF11 グランプリアーティスト展 animagraphy (スパイラル/東京)
fluctuation of life (PLSMIS/東京)
東の間の器 かがやきの詞 with HONDA PLUS (同潤会ギャラリー/東京)
2009年 青木美歌展 (Gallery Art Morimoto/東京)
まといの硝子 (GALLERY MITATE/東京)
2008年 飛ぶための準備 (日比谷パティオ/東京)
青木美歌展 (SAVOIR VIVRE/東京)
shining rain 展 with HONDA PLUS (GALLEY le bain/東京)
2007年 のびる硝子 (GALLERY MITATE/東京)

主なグループ展

2010年 BIWAKO ビエンナーレ 2010 (近江八幡旧市街/滋賀)
夜の庭 (Galerie 59 - Aftersquat/Paris)
手数系 (AKI Gallery/台北)
2008年 第11回岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館/神奈川)
2007年 Born In HOKKAIDO (北海道近代美術館/北海道)
2006年 武蔵野美術大学卒業制作展、同優秀賞展、同学外展 (武蔵野美術大学/東京、スパイラル/東京)

提供作品

2010年 村上龍 単行本“歌うクジラ(上下巻)”表紙
2008年 LUNA SEA アルバム CD “COMPLETE BEST” ジャケット
2007年 YOSSY LITTLE NOISE WEAVER アルバム CD “Woven” ジャケット

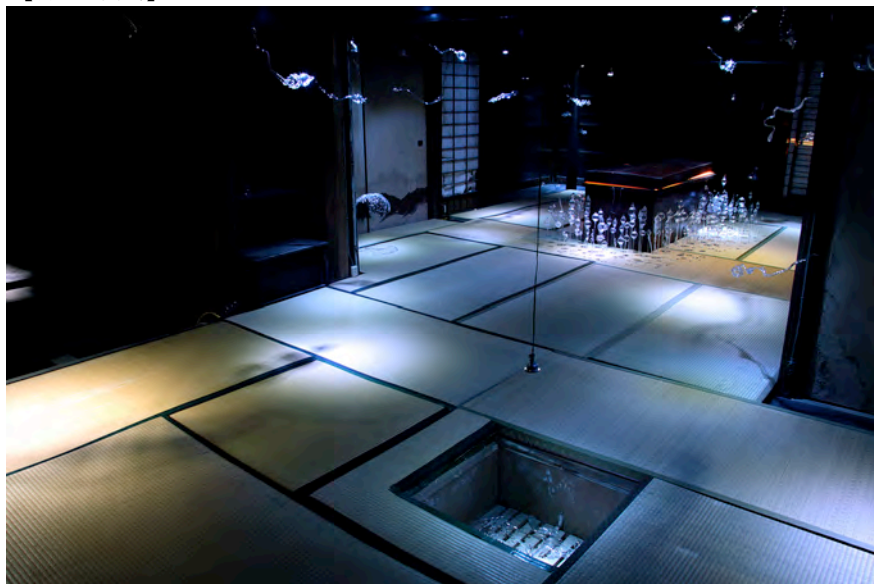
【BIWAKOビエンナーレについて】 Website <http://www.energyfield.org/project/>

BIWAKOビエンナーレは、NPO法人エナジーフィールドが主催するアート・プロジェクトです。2001年に滋賀県大津市で第1回を開催し、2004年の第2回から会場を近江八幡市に移して開催しています。近江八幡市の旧市街に残る空き町屋や元工場などを会場に、国内外の作家がその場でしか実現しない作品を制作・展開する、地図を片手に街中を巡り、近江八幡の魅力を存分に味わいながら楽しむことのできる芸術祭です。次回は2012年開催を予定しています。

【NPO法人エナジーフィールドについて】

貴重な伝統的日本人屋敷が数多く残る近江八幡旧市街一帯において、国際的な芸術祭“BIWAKOビエンナーレ”の継続的な開催を中心に、アーティストによるワークショップやコンサートの開催、地元の「地の財産」を生かしたシンポジウム開催によるまちづくり学習機会の創造を行っています。

【作品写真】



撮影・提供：杉浦慶太



撮影：ナカサアンドパートナーズ 提供：カラーキネティクス・ジャパン